

ZOOしずおか

動物園は出産ラッシュジュです!

レッサーパンダサミット2010

★特集

～ ケニヤ野生動物探訪 ～

動物園ニュース

フォトコンテスト2010

動物園協会だより

N・Z・G・V ガバ ガラティヤ・編集後記

●明日は動物園!!

～出産ラッシュです～

★ 今年の夏から秋にかけてレッサーパンダ、アムールトラ、ボルネオオランウータンと出産が続きました。



レッサーパンダ



▲7月19日に双子が生まれました。名前は「シー」と「ミウ」で、2頭とも女の子です。母親のナラが育児をしなかったため、飼育員の手によって育てられています。



アムールトラ



▲7月28日に双子の姉弟が生まれました。名前は姉が「チャチャ」で、弟が「フジ」です。体が白っぽい方がフジです。現在、母親のナナがしっかりと育てています。

ボルネオオランウータン



◀妊娠中の写真です。出産2ヶ月前なので、だいぶおなかの大きいのが分かります。頭を食べなくなったり便秘にならないか心配しましたが、何事もなく無事出産してくれました。



◀9月13日生まれの男の子で名前は「クッキー」です。出産直後の写真で、母親のキャンティはぐったりしています。よほど疲れたのか、出産後約2週間この場所から移動しませんでした。

CONTENTS

- 1 レッサーパンダサミット2010
特集 **飼育員が行く!!**
- 2 ～ケニヤ野生動物探訪～
- 6 動物園ニュース
動物達と園内のできごと
生まれた主な動物・亡くなってしまった主な動物
来園・出園した動物達
- 9 フォトコンテスト2010
- 10 動物園協会だより
N・Z・G・Vガイドボランティア・編集後記

表紙の写真



「7年ぶりにボルネオオランウータンの子供(♂)が生まれました。日本動物園ではこれまで人工哺育(飼育員の手で子供を育てること)による繁殖はありましたが、今回はじめて自然哺育による繁殖に成功しました。母親のキャンティがしっかりと子育てしています。

SABAE レッサーパンダサミット 2010 に参加してきました！

鯖江市西山動物園は、日本で一番面積の小さな動物園ですが、レッサーパンダの飼育実績では全国でトップレベルを誇っています。中国との友好交流により、北京動物園から寄贈されたレッサーパンダを中心に1985年に開園し、その飼育技術を全国に発信し続けています。平成22年10月10日に西山動物園開園25周年事業として福井県内外から約80名を集めて、レッサーパンダサミットが開催されました。動物園関係者では西山動物園、長野市茶臼山動物園、広島市安佐動物公園、京都市動物園、市川市動植物公園、日本平動物園の獣医師や飼育員が、また研究者代表として神戸大学の先生が報告を行いました。

日本平動物園はレッサーパンダの国内血統登録を行っており、「レッサーパンダの血統登録や繁殖計画について」と「日本平動物園におけるレッサーパンダの飼育状況」を報告しました。

動物園の役割は、楽しんだり、動物や自然環境について学ぶ教育の場となる以外にも、希少動物を保護・繁殖し、研究することも重要です。そのために動物園や水族館は、希少動物の血統登録台帳という動物の戸籍簿のようなものを作って、繁殖計画を策定、実践しています。

レッサーパンダは中国系とネパール系の2つの亜種に分けられるのですが、中国系亜種は日本国内で世界の70%以上を飼育しています。希少種としては順調に繁殖していますが、繁殖するペアが限られているので、血統の偏りが出てきています。これらの課題を克服するために、希少動物は世界共通の財産という考えを前提に、国内の動物園が協力し合って、動物の貸し借りなどを行っています。

それぞれの報告のあとは、パネルディスカッションが行われ、「25年後に動物園でレッサーパンダに会うためにはどうすればいいのか」ということが討議されました。そのためには動物園関係者の努力は当然必要なのですが、お客さんの応援も大きな力になる。つまり一人でも多くのお客さんに足を運んで頂いて、関心を持ってもらうことが大切だということでもすばれました。



鯖江市まなべの館で開催された「レッサーパンダサミット 2010」の様



レッサーパンダ舎前で行われた「パンダランド観察会」

~~たいらちゃんが行く!!~~

飼育員が行く!!

2010年10月8日～17日

～ ケニヤ野生動物探訪 ～

アフリカのケニヤを訪れたのは2003年に続いて2回目です。今回は、サンプル国立保護区、ナクル湖国立公園、マサイ・マラ国立保護区の3か所に行くことができました。8日間で31種類の哺乳類、約60種類の鳥類、3種類の爬虫類、数種の両生類を見ることができました。

どの動物たちも生命力にあふれ、キラキラと輝いていました。そんな動物たちを目の前にワクワクドキドキしながら素晴らしい時間を過ごすことができました。

また、今回は朝から気温が高く、日中は真夏日のような暑さでした。案内をしてくれた動物写真家の内山晟氏も「異常な暑さだ。」と言っていました。地球の温暖化はケニヤの野生動物のところにも大きな影響を与えているようでした。

鈴木和明

こんにちは!! 謎のレッサーパンダ、たいらちゃんです。今回、日本平動物園の飼育員が、野生動物を見にアフリカまで行ってきました。



ではでは、鈴木飼育員が撮影した、野性味あふれる動物たちをごらん下さい。



▲10頭くらいの群れのコロブスだった。



▲レストランの中に入ってきたハイラックス。



▲サンプルにはアミメキリン。マサイ・マラにはマサイキリンがいる。



またの名を「キリンレイヨウ」。首も長く立ち上がって高いところの葉っぱを食べる。

動物がたくさんいる♪



カオグロウロコハタオリ

▲1本の木にたくさんの果がぶら下がっている。
ハタオリの種類は10数種類いる。

▼まっすぐ伸びた角は横から見ると1本に見える。
そのため伝説の「ユニコーン」のいわれとも言われている。



▼エンビツのように細い足、華奢な体。マメジカではなく、レイヨウの仲間。



▲大きな体、細かなシマが特徴。



キルクマクティク

▼気持ちよさそうに外部寄生虫をウシツツキに取ってもらっている。



アフリカゾウの親子

▲生まれて数ヶ月の子供。オッパイは前足の付け根にある。



インバキの闘い

◀インバラはハーレムを作る。オス同士の闘いは常に起こる。
このときは引き分けだった。





アカハシコサイキョウ

▲いつも夫婦で仲良く行動している。

▼ロッジの中まで入ってきたレッサークーズーの親子。



レッサークーズーの親子



▲アリ塚を利用した巣。7~8頭の子供がいた。



アヌビスヒト

◀数十頭の大きな群れで、たくさんの子供もいた。



フラミンゴの群れ

すごい数のフラミンゴ!!
たいらちゃんもビックリ!!



▲ナクル湖のフラミンゴ。一時期よりも数は減っているとのことだが、それでも何万羽はいるようだ。「オオフラミンゴ」と「コガタフラミンゴ」の2種類がいる。この他にもたくさんの鳥類がいる。



▲バッファローが歩くたびに飛び出すバッタなどの虫を狙ってアマサギが回る。

▼立派な角を持ったシロサイ。



▲お腹がそんなに大きくなかったので、これから狩りに行くところか？



▲ガゼルを倒して食べているが、周りを気にしてゆっくり食べられないのがかわいそう。



▲ヌーの群れの中には、シマウマやガゼルの仲間もたくさんいる。お尻にあざのような模様があるのはトビ。



気球から見たヌーの群れ（バルーンサファリ）

▲360度ヌーの群れ。マサイ・マラからセレンゲティーに向かって大移動が始まる。途中にマラ川があり、有名な「ヌーの川渡り」の試練が待っている。

▼普段はなかなか見られないヒョウが目の前を歩いた。ラッキーな瞬間だった。



◀ライオンの若い夫婦。



たいらちゃんもいつかアフリカに行ってみたいな!!

たいらちゃん

日本平動物園に生息する謎のレッサーパンダ。詳しい情報は不明である。



動物達と園内のできごと

5月 4日 マレーバク シン(♂)がミライ(♀)を追いかけて走り回る。午後には、シンのそばにミライが寄ってきて何回か誘うことが見られる。

5月11日 ショウジョウトキ 採食量が増えてきたのか、ペレットの残餌はない。営巣作業がかなり活発になっている。

5月19日 マサイキリン ハート(♂)哺乳は1日2回とし、夕方は1回のみとする。餌が少し残るため、採食するように促す。

5月28日 アジアゾウ シャンティ(♀)尾先が壊死して取れて床に落ちていた。凍傷によるものではないか？

5月30日 ライオン マッチ(♀)とムール(♀)は大猿の仲で、特にムールの方が意識過剰である。

6月 6日 フンボルトペンギン ヒナ、昼頃から1時間程、巣穴の外に出て歩き回っていた。その後も巣穴から出たり入ったりを繰り返す。

6月 6日 ボルネオオランウータン キャンディ(♀)腹部の張り方が突き出した感じになってきている。

6月17日 アフリカクロトキ (♂)(♀)交尾行動あり。夕方も2羽で皿巢に枝を持って行ったりし、営巣行動が見られる。

6月29日 40年続いた子供動物園での幼児教室、本日で終了。

6月30日 オシドリ 雨が降ると、投光器の下に避難する。親鳥が先頭に立ってヒナを引き連れている。

7月 5日 子供動物園の動物達、ふれあい動物園へ引っ越し。



ホニー達は歩いて移動♪

子供動物園が場所と施設を新たに、ふれあい動物園に生まれ変わりました。

7月10日 ふれあい動物園の一次オープン。

7月12日 ジェフロイクモザル ホープ(♂)ハート

(♀)コハク(♀)カナ(♀)を池の工事開始に伴い、捕獲しバックヤードに収容する。



☆クモザル島 上陸捕獲隊☆

撤収



収容

7月13日 ブラッサゲノン ホッキー、親から離れ放飼場内をピョンピョン遊びまわる。綱によじ登ったり、ジャンプしたり、兄弟たちに飛びついたりしている。

人気者ホッキー、引っ張りだこ!



キャ〜

7月18日 マサイキリン ハート(♂)人工哺乳を終了したため、よだれを出し、そわそわしながら良く歩き回る。

7月19日 セタイベント、なりきり獣医さん実施。

7月29、30日 サマースクール1年生実施。

7月30日 サイチョウ (♂)(♀)2羽で巣箱に入っている。給餌時は2羽で来て採食する。

8月1日~31日 夏の動物園まつり期間。

8月 1日 開園記念日。セタイベント、一日こども園長実施。

8月 2日 マサイキリン リン(♀)暑いので鼻の穴を大きく開いて呼吸している。

8月3~6日 サマースクール4~6年生 実施。

8月10、11日 サマースクール2、3年生実施。

8月15日 モモイロペリカン カッター(♂) フライングケージ内の他の鳥たちがペリカンを警戒して採食できない状態。

8月21日 チンパンジー 全頭にスイカ与える。暑い日が続いているため、喉ごしがいいのが一番始めに手を付ける。

9月 5日 ムササビ (♂)朝の給餌時より、(♀)との同居を開始。巣箱はそのまま室内に置く。

9月 7日 パーバリーブ 放飼場内に生えている
青草を食べている。乾草の残りが目立つ
のは、そのためかも？

9月 9日 シロサイ タロウ(♂)サイコ(♀)朝から雨
のため、泥を体に塗りつけている。

9月11日 テキサスラットスネーク (♂)体に赤黄色
の斑点が数ヶ所できています。治療したいが、
脱皮に入るため様子を見る。

9月16日 ボルネオオランウータン キャンディ(♀)
出産後の疲れがまだ残っている感じ。仔、
胎盤、臍帯取れる。夕方、目視にて授乳
確認出来る。

9月19日 ジャガー アラシ(♂)午後、珍しく池に入
る。キコ(♀)の匂いに少し反応する。2頭
共よく動き回り、土間とダブルフェンス上
を昇り降りし、ジャンプもよくする。

9月20日 ニホンザル タロウ(♂)32歳、シェットラン
ドポニー ボン(♀)26歳長寿動物表彰式
を行う。



タロウの長寿の秘
訣はやはり食欲！

ボンへお祝いにニン
ジンのプレゼント☆



9月23日 動物慰霊祭を行う。
10月11日～11月14日 秋の動物園まつり期間。

10月11日 クロヒゲサキ 仔(♀)栗の実与えるが、恐
がって食べようとしない。

10月13日 ルーセットオオコウモリ 員数確認する。離
乳した仔3頭を含め、計44頭。

10月15日 シェットランドポニー 体重測定実施する。
ポエム(♂)235 kg、ボン(♀)138.5 kg、チェ
リー(♂)151.5 kg。

10月25日 シセンレッサーパンダ 人工保育の仔2頭
(♀)をレッサーパンダ舎に移す。しばらく
落ち着きなく動き回る。餌(ミルク+リンゴ)
はよく採食する。

11月 3日 ゾウの体重測定実施。

11月23日 清水エスパルスとのコラボレーション企画、
たいらちゃんとロッキーがアウスタに登場。

バルちゃんショー
にも参加☆



お互いにエールを
贈り合いました！

11月27日 ホッキョクグマ ロッキー3歳のお誕生日会
実施。翌日にはバルちゃんも来園。同日誕
生日のアメリカバイソンのマック19歳もお
祝い。



マックにもバルちゃん
からお祝いの干し草を
プレゼント☆

生まれた主な動物達

6月 4日	ジェフロイクモザル	メス(カナ)
6月13日	コモンマーモセット	性別不明1頭オス1頭
6月22日	オシドリ	性別不明9羽
7月19日	レッサーパンダ	メス(シー、ミウ)



カナです♪
水辺のフライングケージ
がオープンしたら
みんなに会えるよ！



大人は2羽ともメス！
どっちがお母さん？

生まれたばかりの頃♪2頭
で仲良くスヤスヤ・・・



早朝も夜中もミルクを
飲ませてもらったよ。



いつでも
2頭一緒☆



取材もたくさん来たよ!
ドキドキしたよ!



7月28日	アムールトラ	オス(フジ)メス(チャチャ)
9月13日	オランウータン	オス(クッキー)
10月30日	フェネック	性別不明2頭
11月12日	コモンマーモセット	性別不明2頭



キャンティの眼差しに
優しい母を感じます♪



親子4頭そろそろことはで
きませんでした。子育て
上手のナナ。トシの分
まで愛情を注ぎます。



亡くなってしまった主な動物達

6月15日	ビルマニシキヘビ	メス(キョウコ)	卵閉塞、卵管破裂	飼育年数6年
7月4日	ダチョウ	メス	腹膜炎、腹水症	飼育年数11年
8月19日	オニオオハシ	メス	肝機能不全	飼育年数4年
8月24日	フンボルトペンギン	オス	真菌症	飼育年数13年
8月23日	クロミミマーモセット	メス	脳炎	飼育年数1年
9月7日	レッサースローロリス	オス	心不全	飼育年数4年
10月3日	アムールトラ	オス(トシ)	化膿性肺炎	飼育年数14年
10月17日	シロフクロウ	メス(ヘドウィック)	肺炎	飼育年数2年

来園した動物達

8月30日	オオアナコンダ	メス1頭	レップジャパンより
11月8日	ダチョウ	メス1羽	有竹鳥獣店より
11月22日	シロフクロウ	メス1羽	レップジャパンより

出園した動物達

6月14日	メンヨウ	メス(クック、プリン)	井川牧場へ
6月22日	カリフォルニアアシカ	オス(グリアン)	鴨川シーワールドへ
6月28日	ニホンカモシカ	オス(リク)メス(ムー)	茶臼山動物園へ
7月8日	エリマキキツネザル	メス1頭	福山市動物園へ
9月13日	ジェフロイクモザル	オス(ホープ)	伊豆シャボテン公園へ
9月21日	ヤギ	オス(ハチ)メス(スズ)	井の頭自然文化園へ

フォトコンテスト2010

【一般の部】



特選『スキンシップ』松本 道湛

賞	画題	氏名
特選	スキンシップ	松本 道湛
準特選	無題	大瀧 雅也
	ほら、ライオンさんだよ	藤田 美妃子
入選	ねえ、あれスカイツリー!?	加藤 俊光
	親子でカメラ目線	秋山 匡人
	日向ぼっこ	木村 幸紀

【子どもの部】



特選『笑うダチョウ』青木 美早姫

賞	画題	氏名
特選	笑うダチョウ	青木 美早姫
準特選	見ている物は...	永野 莉菜
入選	昼寝中...	桑田 晴陽
	ダンスも上手です	赤岩 萌々夏



めざせ! 動物

平成22年3月に初の「動物園博士」が15人誕生したことを受け、動物園博士の皆さまのためだけのスペシャル企画、その名も「日本平動物園学会」を始めました。第1回(夏の部)として日本平動物園内での裏側見学と交流会を、第2回(冬の部)として貸切バスを使った他園見学会を実施し、いずれも盛況でした。今後も、日本平動物園学会では、夏の部で園内の裏側見学を、冬の部は他園見学会を実施していく予定です。

もちろん、これから博士を目指す皆さまのための入門コースと専門コースも引き続き実施しています。

専門コースは2週目に入り、10月10日(日)と11日(祝)に専門コースその1を開催。13組29人

の皆さまが参加し、全員が合格。このうち4人が、すべての専門コースを修了されたので、新たに動物園博士に認定させていただきました。

10月31日(日)には第5回となる入門コースを実施。過去最高の44組130人の皆さまにご参加いただき、こちらも全員が修了されました。

今後は、3月5日(土)と6日(日)に専門コースその2を開催する予定です(参加はいずれか1日)。

「日本平動物園学会」および「めざせ! 動物園博士」について詳しくは、静岡市動物園協会(Tel.054-262-3252)へお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

「日本平動物園学会」をスタート



▲動物病院(解剖室)にて。死んだ動物の骨なども標本として大切にしています。

《 第1回(夏の部) 7月11日(日)実施 》

記念すべき第1回日本平動物園学会では、日本平動物園の動物病院と飼育調理室を見学。動物たちの健康管理のための、獣医さんや飼育員さん達の日々の

努力を学びました。

交流会では、冬の部の他園見学会の行き先を検討し、東京都の多摩動物公園に何うことになりました。

《 第2回(冬の部) 12月5日(日)実施 》



第2回は多摩動物公園を訪問(日本平動物園ガイドボランティアとの共同開催)。動物解説員さんの案内で、佐渡トキ保護センターから来たトキのことや、オランウータンの飼育と野生での生息状況、野生動物と家畜の違いなどを詳しく学びました。



▲非公開で飼育しているトキの繁殖状況についても教えてもらいました。伝染病などのリスクに備えた分散飼育も動物園の大切な役割です。



▲多摩動物公園では、オランウータンのスカイウォークも見学しました。

園博士

動物園ファンによる
動物園ファンのためのイベント

新たに誕生した動物園博士



入門コースと4
種類の専門コース
をすべて修了され
た皆さんです。

10月11日(祝)認定▶

高山 昌文 博士
鈴木 造 博士



◀10月10日(日)認定

恒川 隼 博士
石神 佳音 博士



専門コースその1 修了者の皆さま



おめでとう!



高山 昌文	鈴木 照乃	田畑 あかね
鈴木 造	白井 晴紀	田畑 飛春
恒川 典子	大浦 敬之	田畑 春海
恒川 隼	大浦 由美子	小長井 孝音
和田 早智子	大浦 慶之助	小澤 澄男
石神 佳音	御守 誠子	小澤 美代子
井上 智美	小西 聡	井上 瑠菜
井上 たき	小西 裕香	井上 愛菜
鈴木 祥太	竹内 佑介	井上 紗菜
鈴木 雄太	田畑 法子	

(受付番号順・敬称略)



第5回入門コース 修了者の皆さま

近藤 美穂	寺田 瑞歩	中村 陸	池田 由佳	鈴木 奏太郎	古賀 匠
近藤 壮	寺田 開地	中村 唯	池田 実優	鈴木 華音	堀川 夏希
坂野 智也	河本 碧	中村 咲	池田 彩里	鈴木 達也	池谷 愛
坂野 尊也	小栗 美由起	中村 紀子	齋藤 典一	鈴木 智映子	諏訪部 あずさ
坂野 達也	小栗 雅司	鈴木 つる	齋藤 聡美	鈴木 日菜	遠藤 晃代
坂野 順子	小栗 宏裕	岡田 周	齋藤 綾香	古谷 和敬	遠藤 可廉
水町 謙太	本橋 文江	牧田 恭輔	齋藤 晴規	古谷 佳子	遠藤 規令
森 美佳	村松 勇哉	永倉 未理	磯村 さやか	古谷 和大	近藤 凌哉
寺田 万友	及川 篤子	望月 利枝	磯村 弘乃	古谷 真子	清水 優太
寺田 あき子	及川 瑞稀	望月 一穂	鈴木 和歌子	古賀 倫枝	鴨狩 奈穂



稲口 恵	池ヶ谷 優芽	松田 千春	沢田 卓也	佐野 孝子	福山 亜門
野々部 里奈	犬塚 菜々美	松田 悦子	沢田 江津子	佐野 由佳	増田 亮太
青島 由里子	犬塚 朱美	河合 靖	沢田 美彩	佐野 彩華	増田 はるな
青島 奈央	鈴木 憲子	河合 千鈴	沢田 陽奈	佐野 舞	増田 敦子
青島 伶奈	鈴木 由佳梨	松野 奈由	大石 莉穂	佐野 伸秀	高木 香織
太田 拓哉	鈴木 颯斗	松野 智一	藁科 春美	大澤 鐘史	高木 さくら
高橋 栄治	鈴木 綺莉	櫻井 千夏	佐渡友 章子	大澤 有紀子	林 久美子
高橋 美和	高木 明美	櫻井 楓夏	佐渡友 春翔	大澤 蓮太	
高橋 美桜	渡邊 夏己	櫻井 孝子	岩崎 有真	大澤 優凪	
高橋 那桜	渡邊 結	小山 幸子	岩崎 美枝	大澤 愛理	
藤田 紗良	松田 かのん	外山 幸太	岩崎 光夫	福山 伊織	

ほか8名様
(受付番号順・敬称略)

N.Z.G.V

NIHONDAIRA ZOO GUIDE VOLUNTEERS (日本平動物園ガイドボランティア)

子ども達が大好きな動物園だからこそ、もっと子ども達の成長を応援したい。そして、もっと動物園を好きになってほしい、もっと知ってほしい。そんな願いを込めて私たちは、平成22年4月から親子教室を始めました。

今回のN.Z.G.V. コーナーでは、この親子教室をご紹介します。

※動物園親子教室は静岡市動物園協会の主催事業で、N.Z.G.V. が内容を提供しています。

▶オリジナル紙芝居でレッサーパンダのお勉強、飼育員さんや獣医さんはどういう仕事をしているのかな？



動物園親子教室とは

4歳前後の子どもと保護者を対象とした教室で、工作やクイズ、絵本や紙芝居を通して、動物たちのことを学びます。年間登録が基本で、偶数月コースと奇数月コースがあり、参加者は2か月に一度(年に6回)教室に参加します。その回ごとに、レッサーパンダやマレーバク、ゾウ、ホッキョクグマなど、テーマの動物が決まっています。教室で勉強してから動物を見に行くと、飼育員さんのお話を聞きます。



◀マレーバクの絵本を元にしたシアターも登場。親子でこんなに模様がちがうんだね。



▶この日の工作コーナーでは、ゾウのウンチから紙を作りました。



▶ホッキョクグマの毛皮にびっくり。これなら寒くないね、手のツメがとても大きいのが分かるかな？



◀飼育員さんのお話、ホッキョクグマはどんな物を食べているのかな？



▲工作に挑戦中。うまくできるかな？難しいところは、ボランティアがお手伝い。

動物園親子教室の平成23年度の日程や参加方法については、(財)静岡市動物園協会にお問い合わせください。

TEL 054-262-3252

定例活動

ふれあい班

土・日・祝
10:30~12:00
13:30~15:00

わくわく班

毎月第2日曜日
10:00~15:00
ゾウやキリンのガイド

ウキウキ班

毎月第1日曜日
10:00~15:00
小型サルやサイのガイド

ふれんど班

毎月第3日曜日
9:00~14:30
動物園親子教室

ツアーガイド班

平日(火~金曜)
団体対象のツアーガイド

ボランティアの仲間を募集しています

N.Z.G.V. では毎年5月~6月に新人研修を行っています。活動の内容に興味のある方は、ぜひご参加ください。このほかの時期もボランティア登録を受け付けますので、詳しくは活動中のボランティアに声を掛けてください。

編集後記

バーバリシブの放飼場を清掃していた時の事です。右手の甲がやけに痒くなり、見てみると少し血が出ています。「蚊に刺されたかな？」と想像していたら、3つの間にか手がパンパンに...まるでクリームパンツのよう。後で調べてみると、どうやらブユ(ブユ)に刺されたみたいです。この虫は、1年中いるそうなので、皆さん刺されないよう気をつけましょう。